

# Senriyama

## 千里山建築会会報



第30号 2020年1月24日発行

### 千里山建築会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
関西大学環境都市工学部建築学科内  
TEL : 06(6368)1121 (代表)  
FAX : 06(6368)0093 (建築学科共通)  
HP : <http://senriyama.xsrv.jp/wp/>

#### Contents

副会長挨拶	(高岸 博之 8期)	1
スプリングフェスティバル懇親会 2019 報告	(市原 淳 22期)	1
建築学科の近況 教室だより	(教育主任 原直也)	2
在学生・卒業生・教員交流会の報告	(北野 幹夫 10期)	2
2018年度 関西大学卒計展覧会報告	(鴨川 絢美 M1)	3
事務局から		
この1年の事業実施状況と今後の事業について		4
会計・事業報告		4
お知らせ (スプリングフェスティバル懇親会 2020)		4
編集後記		4

#### 副会長挨拶

高岸博之 (8期)

千里山建築会の皆様、こんにちは。副会長の高岸です。

学部卒業は1978年(昭和53年)の8期です。大学時代を振り返ると、ほんの少し前のように記憶が蘇りますが、建築学科も2017年には創設50周年を迎え、気が付けば自分もすでに年金生活の年齢となり、こんなジジイが大きな顔をして副会長をすることは千里山建築会の活性化が遠ざかるばかりですので、早い時期に若い世代にバトンタッチしなければと思っています。

私は学部時代から大学院まで山田幸一先生に御指導いただきました。当時、昭和の大修理の真っ只中の桂離宮を卒業論文のテーマに、そして大学院では宮内庁からの委託により調査員として桂離宮に常駐して、解体中の新御殿の調査に2年間どっぷり浸らせていただきました。

大学院修了後は、設計事務所、ディベロッパーを経て現在は個人で設計事務所を営んでいます。

昨年は近畿でも地震被害があり、今年は台風、豪雨など甚大な自然災害が発生しました。地球温暖化の影響なのか、



高岸博之 副会長

これが「数十年に一度」では済まない事態も考えられます。

1995年の阪神淡路大震災のときに被災度調査のボランティアに参加して以来、要請があれば出勤するようにしています。この歳になり何か世の中に恩返しができないかと、今後も被災支援活動に力を入れたいと思っています。

さて、私は千里山建築会のほぼ発足当初より幹事として参加してきて、しばらくは先輩や同年代の幹事ばかりでの運営でしたが、最近は若い幹事も参加してくれてホームページの見直しや講演・見学会などの企画によって情報発信が活発になりつつあります。

今後は、会員の皆様のご協力を得ながら、さらに魅力ある千里山建築会の運営に取り組んでいきたいと思います。千里山キャンパスは年々新しい学舎が建ち、刻々と姿を変えています。毎年4月の第一日曜日に開催される「関西大学スプリングフェスティバル」では、建築学科も卒業生の皆様が集える懇親会を行っていますので、ぜひご参加していただいて、新しい千里山キャンパスを見に来てください。



#### スプリングフェスティバル懇親会 2019 報告 市原 淳 (22期)

毎年恒例の懇親会をスプリングフェスティバルと同じ4月6日(日)に開催しました。今年は桜が満開でお天気にも恵まれ、最高の1日となったことと思います。今年の懇親会参加者は14名でした。お越し頂いた皆様、誠にありがとうございました。参加者からは、年間行事の企画などの貴重なリクエストもいただきました。



2019年度、平成から令和へと、穏やかで速やかな御代替りの年に建築学科教育主任を担当させていただいております。建築学科の近況としては、受験生からの人気も高く、関西大学理工系学部の中での入学難易度は最も高い状況を引き続き保つ中、今年度も学部、大学院博士前期課程、大学院博士後期課程に、多くの新たなメンバーや、新たなステップに進む学生を受け入れることができました。4月には西澤先生が特別任用教授、そして名誉教授とられました。また、西澤先生は著書「耐震木造技術の近現代史」により建築学会賞（論文）を受賞され、長年の活動とその業績が高く評価されています。

今年度は台風の上陸が重なり日本各地で被害が発生いたしました。関西圏における被害は昨年度に比較すると大きくはありませんでしたが、関係者やご本人が被害を受けた本会のみなさまには、心からお見舞い申し上げます。気象予測精度の向上により、台風の規模や進路がある程度わかる時代においても、災害に対する備えと迅速な対応が重要である事を改めて痛感させられる出来事でした。

人事面では、今年度は本学教員構成が変わるような異動

はございましたが、来年度は江川先生と河井先生が、また再来年度には西澤先生が特別任用教授の最終年を迎えられる予定となります。来年から再来年にかけては先生方の退職に伴い、人事が大きく動く年が続きます。また、昨今、近隣他大学において建築学科の新設や、建築系学科から建築学部への移行などが相次ぎ、本学の建築学科を取り巻く環境が大きく変わってきております。近隣大学に対する本学建築学科の位置付けや、あるべき姿を改めて考え、本学科の特色を明確にして効果的に情報発信していかなければならない時期を迎えています。教室におきましては、中長期的な視点で関西大学建築学科の行く末を見据え、激動の来年、そして再来年に向けて、穏やかで速やかに新たな体制を整えるべく、教員・教育体制について議論を始め、そして備えを進めているところです。

これからも教員一丸となって、建築学科並びに千里山建築会の発展に向け、学生教育、研究に励む所存でございます。皆様におかれましても、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 『建設業界の「今」をお話しします!』在学生・卒業生・教員交流会のご報告 北野 幹夫 (10期)

本イベントは、在学生の進路や就職に役立ててもらうための講演会と、在学生・卒業生・教員による交流会の2部構成で2019年11月9日（土）に実施されました。開催場所は、関大イノベーション創生センターにあるレセプションスペースで、在学生14人と卒業生・教員18人の参加となり、気軽にコーヒーを飲みながら打ち解けた雰囲気の中で行われました。

第1部では3人の卒業生の方による、パワーポイントを使ったすばらしい講演がありました。

最初は、和田彬代さん（47期卒・安井建築設計事務所）のお話でした。学生時代は＜繊維産業＞に関心があり趣味のサイクルツーリングで色々な所を見てまわり、それらの情報を題材にして設計に取り組みされたそうです。現在もその経験が仕事に役立っているとのこと。学生時代から何かに興味を持って取り組めば、学習の動機づけになり、結果がついてくることをご説明からよく分かりました。

次に、山口大地さん（41期卒・竹中工務店）です。ビジュアライゼーションという新しい設計の仕事をされ、その作品を見せていただきました（本紙面でお見せできなくて残念）。建築設計を高度な演出技術により、現実の生き生き

した建築空間に映像で表現するものです。学生時代から、広告・映像に関心があり、視覚体験（表現）が価値を生む時代がきていると確信し、早くからこの進路を選ばれ、色々チャレンジされ今に至っているそうです。最後に、自分がこうだと思いを信じて進むことが大切とのメッセージがありました。今後、ますます活躍されると思います。

3人目は、浅井伸之さん（15期卒・織本構造設計）です。ご自身は構造設計一級建築士であり、日本でもトップクラスの構造設計技術の会社に勤めておられます。講義は、免震構造とそうでない構造の比較など3Dを使った架構モデルによるご説明でした。構造設計の仕事の醍醐味というか面白さについて楽しく語っていただきました。



2部では、講演者が分かれて座る3つの長テーブルに、在学生、卒業生、教員がそれぞれ自由に分かれて席につきました。自己紹介と意見交換をしたあと、メンバーを入れ替える<ワールドカフェ>方式で交流を行いました。在学生が卒業生に建設業界の「今」を率直に聞きました。設計範囲として家具まで含めて設計するのですかとか、具体的な勤務事務の内容、残業の有無、働き方改革など様々な質問がありました。卒業生は丁寧に応えていました。

最後の座席の移動が終わり、時間はあっという間に経ちました。皆様の表情から有意義な意見交換ができたと感じました。そして、集合写真を撮って散会となりました。

今回企画は初めての取組みでしたが、素晴らしいご説明

を頂いた3人の講師の方に御礼申し上げますとともに、熱心に聴講された在学生の皆様に感謝いたします。そして、本会開催の準備にご尽力いただいた全ての関係者の方々には大変お世話になりました。



## 2018年度 関西大学卒業設計展覧会報告 鴨川 絢美 (大学院修士1年次生)

第4回関西大学建築学科卒業設計展覧会が2月19日から21日の3日間で開催されました。第1回から第3回目までは関西大学博物館で開催しておりましたが、第4回目となる今年は私たちが4年間過ごしてきた千里山キャンパス第4学舎の一室で行いました。出展者は5つの研究室から計22名おり、準備から運営まで行いました。



例年出展者が希望する形で展覧会を行っており、今回は展示会と講評会を開催いたしました。展示会と講評会に決まった

背景としては、これまでの課題を人に見てもらえる機会があまりなかったため、長期間かけて取り組んだ卒業設計はできれば多くの人に見てもらいたい（特に下宿している学生は親に直接見せられる機会になる）という意見や、今まで課題を見てもらってきた先生方以外の専門家の意見を聞いてみたいなどの意見が挙げられたためです。

2日目に行われた特別講評会のゲスト審査員には 長町志穂さん (LEM 空間工房)、魚谷 繁礼さん (魚谷繁礼建築研究所)、小松 一平さん (小松建築設計事務所) の3名にお越しいただきました。授業の講評会とはまた違う雰囲気、学生は卒業設計をするにあたって考えてきたことを全て出しきり思いを伝える事ができ、公開審査では予選で選ばれた8名が審査員と活発な議論を展開しました。また、今年は相見 良樹さん (時代) にもお越しいただき、司会進行役をしていただきました。学生では聞き出すことのできないゲストの方々のご意見をわかりやすくまとめていただき、聞いている学生にとっても理解しやすく勉強になる機会となりました。

学生主体で行われる企画で未熟な部分も多々ありましたが、千里山建築会、ゲストの皆様、先生方、そして来場者の皆様のおかげで有意義な展覧会となりました。第1回目は私たちが1回生の年に行われており、初回から見てきた学年は今年で卒業となります。今後、今年の卒業設計展覧会を見た後輩たちには是非とも、より良い卒業設計展覧会を今後作り上げてもらいたいと思っています。

●概要	
開催期間	2/19 (火) 展覧会 2/20 (水) 特別講評会 2/21 (木) 展覧会
開催場所	関西大学第4学舎4号館4301教室
出展者	関西大学4回生 22名
特別講評会ゲスト審査員	長町 志穂 (LEM 空間工房) 魚谷 繁礼 (魚谷繁礼建築研究所) 小松 一平 (小松建築設計事務所)
司会	相見 良樹 (時代)
●来場者	
	関西大学 :45名 他大学 :35名 一般 :12名 企業 :9名



## 事務局から

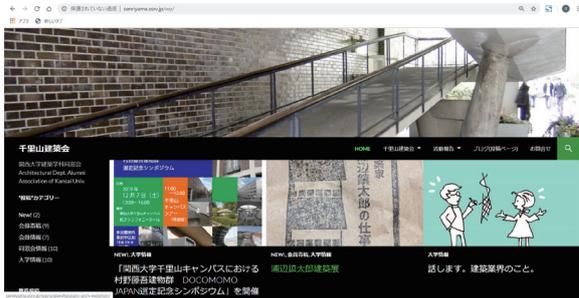
この1年の事業実施状況と今後の事業について 井上寿也(20期)

千里山建築会では、会報第29号発行以降、この1年間で主に以下の事業に取り組んできました。

- 1) 「関西大学建築学科卒業設計展覧会」への支援や、就職支援を目的とした学生と卒業生・教員との交流会の開催といった在学生向けの支援
- 2) 卒業生を主な対象としたスプリングフェスティバル懇親会の開催
- 3) ホームページの活性化と電子メールによる会員への情報伝達

1) および2)については、本会報の開催報告をご参照下さい。3)のうち、ホームページについては、市原副会長のご尽力により一部内容を見直すとともに、2018年度後半以降、関西大学建築学科に関する情報、先生方や現役学生・卒業生に関する情報、卒業生の寄稿や催し物のご案内など、これまでよりも頻度高く更新しています。ご覧になったことのない方は、是非一度ご覧頂ければ幸いです。また、「千里山建築会からのお知らせ」のメール配信を今年より開始し、ホームページの更新情報などを不定期でお知らせしています。ご希望の方は、千里山建築会ホームページの「会員情報の入力・変更」に必要な事項を記入の上、送信して下さい。(http://senriyama.xsrv.jp/wp/memberinfo/)

今後は、在学生への支援活動を継続するとともに、スプリングフェスティバル以外の卒業生向けのまちな歩きのような企画を検討中で、2020年度前半頃に実施しようと考えています。開催が決まりましたら、ホームページやメールでお知らせしますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



《編集後記》 明けましておめでとうございます。昨年は締めくくりに、千里山キャンパス村野建築群が、DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されました。12月7日(土)には記念シンポジウムも行われ、記念プレートが理事長に手渡されました。また、学長はその挨拶で、「大変重いプレートを頂戴した」と述べられ、大学のトップが千里山のキャンパスデザインを再認識されたシンポジウムでした。橋寺先生、進行お疲れさまでした。また、大学では「SDGsに関する行動指針」を策定。一方で、環境にやさしい世界大学ランキング(2019 UI GreenMetric World University Rankings)において、全体で126位、日本国内で2位にランクインしました。関西大学では、人権×環境×建築、という関連付けた取組がしやすくなっているような気がします。今年はオリンピック・パラリンピックイヤーで、本学の学生・卒業生も現時点で3名の出場が決定・内定しています。みなさま、良い年にしましょう!(市原淳)

## 会計報告

平成30年度(2018/4/1～2019/3/31)

収入の部		支出の部	
繰越金	¥2,183,634	SF 懇親会	¥10,441
SF 会費	¥10,000	HP 用サーバーレンタル料	¥12,960
総会入金	¥624,000	卒業式記念写真代	¥56,800
郵便局利子	¥17	総会案内葉書印刷代・送料	¥310,543
新規会員入会費	¥97,000	総会会場費	¥116,900
寄付	¥61,002	総会懇親会飲食費	¥346,291
		会員名簿作成費	¥194,400
		名簿・卒業写真郵送費	¥21,905
		18年度卒計展後援	¥30,000
		小計	¥1,100,240
		繰越金	¥1,875,413
合計	¥2,975,653	合計	¥2,975,653

繰越金明細	
郵便普通預金	¥1,804,445
りそな普通預金	¥452
現金	¥70,516
合計	¥1,875,413

## 事業報告

平成30年度(2018/4/1～2019/3/31)

- 4月8日 スプリングフェスティバル・懇親会開催
- 4月29日 2017年度第7回幹事会開催
- 6月14日 第10回総会・懇親会開催
- 8月22日 第1回幹事会開催
- 10月24日 第2回幹事会開催
- 12月3日 第3回幹事会開催
- 12月25日 第4回幹事会開催
- 1月6日 会報第29号発行
- 2月25日 本会お知らせメールの配信開始
- 2月19日-21日 第5回幹事会開催
- 3月20日 卒業設計展覧会支援
- 卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影

なお、企画運営、広報、総務の各担当者は随時各部会を開催

## お知らせ

スプリングフェスティバル懇親会2020の予告

日時: 2020年4月5日(日)14:00～

場所: 未定(決定次第、HP等でお知らせします)

会費: ¥1,000

講演者: 松峯哲也さん(15期昭和60年3月卒山田研)

内容: 「空き家問題と阿倍野の長屋」